

ターゲット 4

未来へ発信！「躍動とくしま・感動宝島」の実装

世界に誇る「あわ文化」の深化を図り、世界に飛躍するアスリートの育成強化に取り組みとともに、県民誰もが身近に文化やスポーツに親しめる環境づくりを加速させ、文化やスポーツを通じた本県の魅力発信がひとを惹きつけ、賑わいと活力に満ちあふれた「躍動とくしま・感動宝島」の実装に向け、5つの重点戦略を展開します。

5つの重点戦略（主な「主要指標」）

主要指標	現状値('17値)	目標値('22値)
◆重点戦略1 世界に誇る！「あわ文化」の創造と継承		
○徳島版「加チヲルオリンピック」(仮称)の開催	—	('19)~('21)開催
○LEDデジタルアートとの融合によるナイトタイムイベントの開催	—	('20)開催
○「初」世界に誇る「世界の記憶」(記憶遺産)への申請・登録	—	('20)申請・('21)登録
◆重点戦略2 世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化		
○「東京2020オリンピック・パラリンピック」における事前キャンプの誘致数	—	('20)4件
○国民体育大会天皇杯順位	46位	毎年30位台
○公式オリンピック関連イベントへの県産食材提供品目数(累計)	—	('20)8品目
◆重点戦略3 目指すは世界標準！「スポーツレガシー」の創造と継承		
○国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の県内開催件数(累計)	—	16件
◆重点戦略4 共生社会の実現！障がい者スポーツ・芸術文化の深化		
○「パラスポーツ人材バンク(仮称)」の創設	—	('20)創設
◆重点戦略5 新次元！文化スポーツ施設「グレードアップ戦略」の展開		
○文化の森総合公園文化施設入館者数(年間)	814,816人	81万人
○「未来型スポーツ環境創造プロジェクト」の推進	—	基本構想等策定

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

【重点戦略1】

世界に誇る！「あわ文化」の創造と継承

主要事業実施工程表（4-1 世界に誇る！「あわ文化」の創造と継承）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	2019	2020	2021	2022
1 あわ文化による「文化と経済の好循環」				
<p>主要指標</p> <p>○徳島版「カルチュラルオリンピアード（仮称）」の開催 開催</p>				
<p>●「あわ文化」を大切に引き継ぎ育んできた基盤を活かし、県民一人一人が、本県の伝統・文化を学び、徳島に誇りをもって、新たな文化創造の担い手として積極的に活動する、「文化立県とくしま」を実現します。 また、本県が誇る「あわ文化」や文化財の魅力を、活力あるまちづくりに活かし、文化と経済の好循環を図ります。 <県民></p>	推進			
○「徳島県文化芸術推進基本計画（仮称）」の策定（'19）策定				
<p>●「阿波藍」「阿波人形浄瑠璃」「阿波おどり」「ベートーヴェン第九」の「4大モチーフ」をはじめとする「あわ文化」の継承・発展に向けた取組みを進めるとともに、積極的に観光資源としても活用し、「あわ文化」の魅力を広く発信します。（再掲）<県民></p>	推進			
○徳島版「カルチュラルオリンピアード（仮称）」の開催（'19）～（'21）開催				
○「ジャンプルー展示会（仮称）」の開催（'19）開催				
○阿波人形浄瑠璃「人形座」の海外派遣（'19）派遣				
○阿波人形浄瑠璃公演等入場者数（'17）36,343人→（'22）38,000人	36,500人	37,000人	37,500人	38,000人
<p>●観光消費額の増加による地域経済の活性化と、住民の愛着や誇りを醸成する豊かな地域社会の実現を図るため、「鳴門の渦潮」、「阿波の土柱」などの雄大な自然や、「阿波おどり」、「お遍路」をはじめとする歴史・文化など、魅力的な地域資源を観光地経営の視点に立って活用し、国内外からの観光誘客を推進します。また、本県を代表する伝統文化「阿波おどり」の海外公演や指導者派遣を行うことにより、徳島の認知度向上並びに「徳島ファン」の拡大を図り、本県の観光誘客に繋がります。<商工></p>	推進			
○観光消費額（再掲）（'17）889億円→（'22）1,200億円	1,155億円	1,170億円	1,185億円	1,200億円
○各国大使館等と連携した「阿波おどり」の海外公演及び指導者派遣回数（累計）（再掲）（'17）4回→（'22）30回	15回	20回	25回	30回

主要事業実施工程表（4-1 世界に誇る！「あわ文化」の創造と継承）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	2019	2020	2021	2022
● 広く県内外に向けて文化・芸術の感動や体験の場を提供するため、民間との連携を図るなど魅力ある企画展やイベントを開催します。＜教育＞	推進			→
○文化の森総合公園文化施設入館者数 ('17) 814,816人→('19)～('22) 年間81万人	81万人	81万人	81万人	81万人
● 次代の担い手を育てるため、あわ文化や芸術作品に直接触れる機会を設けるとともに、野外かんさつ会や鑑賞教室、古文書講座等の多様な体験の機会を提供します。 ＜県民・教育＞	推進			→
○文化の森文化施設普及事業の開催回数 ('17) 328回→('19)～('22) 年間330回以上	330回	330回	330回	330回
○文学書道館等拠点となる文化施設での講座開催回数 ('17) 125回→('19)～('22) 年間130回以上	130回	130回	130回	130回
● 歴史的に本県に息づいてきた「邦楽・クラシック・ジャズ」の「あわ三大音楽」について、県民が主体となって音楽を演奏する機会の充実を図り、「県民主役」の取組みを推進するとともに、親子で気軽に音楽にふれあう機会を創出します。また、県民誰もが「あわ文化」に身近にふれあう機会を創出します。＜県民＞	推進			→
○「とくしま夏の音楽祭」への参加者数 ('17) →('19)～('22) 年間2,200人以上	2,200人	2,200人	2,200人	2,200人
○「はぐくみコンサート」開催回数 ('17) 1回→('19)～('22) 年間3回以上	3回	3回	3回	3回
○児童や生徒を対象とした人形浄瑠璃・邦楽の「体験型ワークショップ」の開催 ('20)～('22) 開催				
2 「新たな文化」によるにぎわい創出				
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px 5px; margin-right: 10px;">主要指標</div> <div>OLEDデジタルアートとの融合によるナイトタイムイベントの開催 開催</div> </div>				
● 国内外から注目を集める「マチ★アソビ」を核としたアニメイベントを開催することにより、徳島ならではの魅力を活かしたにぎわいの創出や新たな地域文化の創造と発信を図ります。（再掲）＜商工＞	開催			→
● 「アニメの聖地徳島」として、世界にアニメ文化を発信し、地域の活性化、観光誘客の促進を図るため、国内外のアニメファンが集う「マチ★アソビ」と、徳島の特色を活かした「LEDデジタルアート」との融合による「ナイトタイムイベント」の開催により、新次元の「驚きと感動体験」を実現します。（再掲）＜商工＞	開催			→
○OLEDデジタルアートとの融合によるナイトタイムイベントの開催 ('20) 開催				
● 世界的な盛り上がりを見せる「eスポーツ」を、徳島の新たな文化として積極的に活用し、地域活性化と共生社会の実現に向けた取組みを推進します。＜県民＞	推進			→
○国体「eスポーツ」への選手派遣 ('19)～('22) 派遣				
○「eスポーツ」徳島県知事杯の創設 ('19) 創設				
○全国規模の競技会・交流会の開催 ('22) 開催				

主要事業実施工程表（4-1 世界に誇る！「あわ文化」の創造と継承）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	2019	2020	2021	2022
3 あわ文化創生プロジェクトの推進 主要指標 ○学校への芸術家等派遣事業に参加した児童生徒数 年間1万人				
● 児童生徒が身近に芸術文化に触れる機会を充実させるとともに、児童生徒を対象に、芸術文化分野での創作活動の支援や伝統芸能分野での担い手育成を行い、地域に根ざした文化の発信活動を支援します。＜教育＞	推進			
○学校への芸術家等派遣事業に参加した児童生徒数 ('17) 10,620人*→('19)～('22) 年間10,000人 *過去3年平均	10,000人	10,000人	10,000人	10,000人
● 次代を担う若者の文化芸術力を高めるため、中学生の「あわっ子文化大使」や、高校生となった「あわっ子文化大使サポーター」が活躍・交流する機会を提供し、「あわ文化教育」を推進します。＜教育＞	推進			
○あわっ子文化大使・サポーターの活動参加人数 ('17) 118人→('19)～('22) 年間130人	130人	130人	130人	130人
● 次代の「あわ文化」を担う人材を育むため、徳島県中学校文化連盟と連携して、学校や市町村の枠を越えて文化芸術に親しむ機会である中学校の文化の祭典「徳島県中学校総合文化祭」におけるワークショップや舞台発表を充実させ、中学生の文化芸術力を高めるとともに、全国に向けて発信します。＜教育＞	推進			
○「徳島県中学校総合文化祭」の来場者数 ('17) 2,138人*→('19)～('22) 年間2,500人以上 *過去3年平均	2,500人	2,500人	2,500人	2,500人
○各分野で活躍する芸術家を招いての「中学生ワークショップ」の開催 ('19)～('22) 開催				
○「あわ文化野外フェスティバル（仮称）」の開催 ('19) 開催				
● 2018年に開催された近畿高等学校総合文化祭徳島大会を契機とする、県内高校生の文化芸術への気運の高まりをシカシーとして拡充・発展できるよう、地域の子どもたちを対象とした高校生による実技講習会を実施し、文化の継承・発展に取り組む次世代アーティストを育成します。＜教育＞	推進			
○名西高校「芸術サポーター制度」の創設 ('19) 創設				
4 「世界遺産」登録への挑戦 主要指標 ○ユネスコ「世界の記憶」（記憶遺産）への申請・登録 申請・登録				
● 第一次世界大戦当時、収容所での人道的配慮からドイツ人捕虜の自主的な活動が許され、ベートーヴェンの「第九」全楽章アジア初演の地となるなど、交流と文化の華が開いた「板東俘虜収容所」について、その記録物である「板東俘虜収容所関係資料」のユネスコ「世界の記憶」（記憶遺産）への登録を目指した取組みを徳島県と鳴門市が連携して行うとともに、同資料の重要性を日本全国、さらには世界へ発信し、ふるさと徳島の魅力向上を推進します。＜県民＞	準備	申請	登録	
○ユネスコ「世界の記憶」（記憶遺産）への申請・登録 ('20) 申請・('21) 登録				

主要事業実施工程表（4-1 世界に誇る！「あわ文化」の創造と継承）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	2019	2020	2021	2022
<p>●「四国八十八箇所霊場と遍路道」は、国籍や宗教・宗派を超え誰もが巡礼できる「世界に誇る四国の財産」であり、この「かけがえのない文化資産」を人類共有の財産として将来の世代へ保存・継承していく世界遺産への登録を推進するため、四国他県や関係団体と連携し、札所寺院や遍路道を国の史跡として指定する「資産の保護措置」を進めるとともに、遍路道をはじめ、地域に根付く「四国遍路文化」の魅力を国内外へ発信する取組みを進めます。<県民></p>	推進			
<p>○札所寺院及び遍路道の国史跡指定に向けた文化財調査箇所数（累計） ('17) 21箇所→('22) 40箇所</p>	28箇所	32箇所	36箇所	40箇所
<p>○クラウドファンディング（CF）の活用など県民参加型の四国遍路文化の保存・活用事業の実施 ('17) →('19)～('22) 年間1箇所</p>	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
<p>●「世界三大潮流」の一つに数えられ、渦の大きさは世界最大規模と言われる「鳴門の渦潮」の魅力を全国、そして世界へ向けて発信するとともに、人類共有の財産として保存・継承していくために、徳島県、兵庫県及び関係市・団体が連携して、世界遺産登録を目指した取組みを推進します。<県民></p>	作成・提出	推進		
<p>○「世界遺産暫定一覧表」記載資産候補提案書の作成・提出 ('19) 作成・提出</p>				

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

【重点戦略2】

世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化

主要事業実施工程表（4-2 世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	2019	2020	2021	2022
1 スポーツ振興によるにぎわいづくり				
<p>主要指標 ○「東京2020オリンピック・パラリンピック」における 事前キャンプの誘致数 4件</p>				
<p>● 3大国際スポーツ大会のキャンプ地誘致や、県内での競技大会開催を積極的に推進し、生涯スポーツの機運醸成や県内選手の競技力向上はもとより、地域経済の活性化や国際交流の促進を図ります。〈県民〉</p>	推進			→
○「ラグビーワールドカップ2019」における事前チームキャンプ実施（'19）実施				
○「東京2020オリンピック・パラリンピック」における事前キャンプの誘致数（'17）→（'20）4件		4件		
○「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」における県内での競技大会開催（'21）開催				
<p>● 3大国際スポーツ大会におけるキャンプ地誘致や競技大会開催を通じて創造される「レガシー」を県民の誰もが実感できるように、国内外からのスポーツ大会誘致や国際スポーツ交流を実施します。（再掲）〈県民〉</p>	推進			→
○国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の県内開催件数（累計）（'17）→（'22）16件	4件	8件	12件	16件
<p>● 東京2020オリンピック・パラリンピックをはじめとする国際スポーツ大会の開催によって高まったスポーツ参画の機運を一過性のもので終わらせることなく、県民の誰もがスポーツに親しむことのできる生涯スポーツの普及を図り、スポーツ人口の拡大に努めます。〈県民〉</p>	推進			→
○成人の週1回以上のスポーツ実施率（'17）51.8%→（'22）65%	58.0%	60.0%	62.0%	65.0%
○県民向けスポーツ交流イベント参加者数（'17）1,000人→（'22）1,300人	1,000人	1,100人	1,200人	1,300人
○「全国レクリエーション大会」の開催誘致（'22）開催誘致				
<p>● 徳島ヴォルティスを通じて、次世代を担う子供たちにプロスポーツのすばらしさを体験してもらうとともに、スタジアムへの来場を促進する取組みを行い、県内にぎわいの創出を図ります。〈商工〉</p>	推進			→
○徳島ヴォルティスホームタウンデー招待者数（'17）1,732人→（'22）2,000人	1,850人	1,900人	1,950人	2,000人

主要事業実施工程表（4-2 世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	2019	2020	2021	2022
<p>● 市町村等と連携協力し、徳島インディゴソックスを活用したスタジアムのにぎわい創出や、球団を通じた国際交流を深める取組みを展開し、県民が一丸となってスタジアムを応援する機運を醸成します。＜商工＞</p>	推進			
○徳島インディゴソックス年間ホームゲーム招待者数 ('17) 1,655人→('22) 2,000人	1,850人	1,900人	1,950人	2,000人
<p>● 健康や環境にも好影響をもたらすサイクルスポーツのさらなる振興を図るため、県内ライドイベントの参加者の利便性向上につながるサイクリトレインの運行や、様々なジャンルの自転車等の展示・試乗等を行う「Tokushimaサイクルワールド（仮称）」の開催により、サイクリストの裾野拡大と自転車を通じた徳島の魅力を発信し、「自転車王国とくしま」の充実を図ります。＜県民＞</p>	推進			
○サイクリトレインの運行 ('19)～('22) 運行				
○「Tokushimaサイクルワールド（仮称）」の開催 ('19) 開催				
<p>● サイクルツーリズムの推進により交流人口の拡大や地域活性化を図るため、兵庫県と連携し、大鳴門橋への自転車道設置を推進します。＜県土＞</p>	推進			
○大鳴門橋自転車道の整備 ('20) 調査設計				
<p>2 徳島アスリートの育成強化</p> <p>主要指標 ○国民体育大会天皇杯順位 毎年30位台</p>				
<p>● 本県の競技力向上を図るため、ジュニア期から優れた素質を有する競技者を発掘し、トップレベルの競技者へと育てる「一貫指導システム」の構築と「トップ指導者の養成」に努めるとともに、企業や大学等のスポーツ選手強化・育成事業への支援や、元オリンピック選手等による講習会やセミナーの開催等により、未来のトップアスリートの育成や県内選手の強化に取り組みます。＜県民＞</p>	推進			
○国民体育大会天皇杯順位 ('17) 46位→('19)～('22) 毎年30位台	30位台	30位台	30位台	30位台
○元オリンピック選手等によるジュニア選手の指導 ('19)～('22) 実施				
<p>● 2022年に四国で開催する全国高校総体に向け、各競技団体と連携しながら、有力競技の集中強化やお家芸競技の創出に取り組み、国際大会や全国大会等で活躍するトップアスリートの育成・強化を図ります。 また、早い段階での有力選手の発掘・育成を進めるため、活躍が期待できる競技を選考した上で中学校段階での指導体制強化を図ります。＜教育＞</p>	推進			
○全国高等学校総合体育大会等の入賞（団体・個人）数 ('17) 47団体・個人→('19)～('22) 50団体・個人	50団体・個人	50団体・個人	50団体・個人	50団体・個人
○全国中学校体育大会等の入賞（団体・個人）数 ('17) 5団体・個人→('19)～('22) 13団体・個人	13団体・個人	13団体・個人	13団体・個人	13団体・個人
○有力中学選手「高校生との合同練習会」の実施 ('17) →('19)～('22) 「NEO徳島トップスポーツ校」で 100%実施	100%	100%	100%	100%

主要事業実施工程表（4-2 世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	2019	2020	2021	2022
● 全国高校総体や国民体育大会において上位入賞を目指す高校生トップアスリートを育成するため、全国大会上位成績の他県強豪チームを招待し、交流試合等を実施します。トップレベルの競技力を体感することにより、チームや個人の競技力向上を推進するとともに、指導者の育成を図ります。＜教育＞	推進			→
● スポーツ拠点校である鳴門渦潮高校の「スポーツ科学科」の充実した施設・設備を活用し、より高度で質の高いスポーツ教育を行い、本県スポーツ科学の普及・振興を図ります。＜教育＞	推進			→
● 世界で活躍する徳島アスリートの育成強化と、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の地元機運醸成および出場機会の創出を図るため、地元小学生等を対象にした「サーフィンスクール」を開催するほか、トップアスリートによる実技講習を開催します。＜南部＞	開発	推進		→
○小学生を対象にしたサーフィンスクールの実施回数（累計） （'17）→（'22）5回	2回	3回	4回	5回
○トップアスリートによる実技講習の実施（累計） （'17）1回→（'22）6回	3回	4回	5回	6回
3 国際スポーツ大会「フードレガシー」の創出				
主要指標 ○公式オリパラ関連イベントへの県産食材提供品目数（累計） 8品目				
● 大型国際スポーツ大会の開催を産地づくりのターニングポイントと位置付け、次世代につながる「安全安心なフードレガシー」を創出します。＜農林＞	推進			→
○GAP認証取得「ステップアップフォーラム（仮称）」の開催 （'19）～（'22）開催				
○農林水産省GAPガイドライン準拠以上の認定件数（累計） （'17）35件→（'22）70件	50件	60件	65件	70件
○公式オリパラ関連イベントへの県産食材提供品目数（累計） （'17）→（'20）8品目	4品目	8品目		
○ホストタウン対象国メニュー開発数（累計） （'17）→（'20）8メニュー	4メニュー	8メニュー		

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

【重点戦略3】

目指すは世界標準！「スポーツレガシー」の創造と継承

主要事業実施工程表（4-3 目指すは世界標準！「スポーツレガシー」の創造と継承）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	2019	2020	2021	2022
1 スポーツ施設の世界標準化				
<p>主要指標 ○国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の県内開催件数（累計） 16件</p>				
<p>● 3大国際スポーツ大会におけるキャンプ地誘致や競技大会開催を通じて創造される「レガシー」を県民の誰もが実感できるように、国内外からのスポーツ大会誘致や国際スポーツ交流を実施します。また、誘致を見据え、鳴門・大塚スポーツパーク（鳴門総合運動公園）等の施設の充実を図り、受入環境を整えます。（一部再掲）＜県民・県土・教育＞</p>	推進			
○国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の県内開催件数（累計） ('17) →('22) 16件	4件	8件	12件	16件
○県立中央武道館空調設備の設置及び受電設備の改修 ('19) 完了				
○鳴門・大塚スポーツパーク第2陸上競技場の走路改修 ('19) 完成				
○ポカリスエットスタジアムの走路改修 ('21) 完成				
○JAバンクちょきんぎょプール(50mプールの)改修 ('19) 完成				
○JAバンクちょきんぎょプール(観客席スタンド)の改築 ('19) 設計着手				
○徳島科学技術高校「アーチェリー場・ウエイトリフティング場・弓道場」の改築 ('19) 完成				
○阿南光高等学校の多目的球技場整備 ('20) 完成				

主要事業実施工程表（4-3 目指すは世界標準！「スポーツレガシー」の創造と継承）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	2019	2020	2021	2022
<p>● 東京2020オリンピック・パラリンピックをはじめとする国際スポーツ大会の開催によって高まったスポーツ参画の機運を一過性のもので終わらせることなく、県民の誰もがスポーツに親しむことのできる生涯スポーツの普及を図り、スポーツ人口の拡大に努めます。また、生涯スポーツの拠点づくりのため、運動公園等の整備を推進します。（一部再掲）〈県民・県土〉</p>	推進			
○成人の週1回以上のスポーツ実施率 ('17) 51.8%→('22) 65%	58.0%	60.0%	62.0%	65.0%
○県民向けスポーツ交流イベント参加者数 ('17) 1,000人→('22) 1,300人	1,000人	1,100人	1,200人	1,300人
○「全国レクリエーション大会」の開催誘致 ('22) 開催誘致				
○南部健康運動公園の陸上競技場の整備 ('17) 整備中→('20) 完成				
○JAバンク蔵本公園の体育ホール空調の整備 ('17) →→('19) 完成				
○JAバンク徳島スタジアムの防球ネット改修及び両翼拡張 ('17) →→('21) 完成				
○橋港小勝・後戸地区の緑地整備 （スポーツ・レクリエーション振興ゾーン） ('17) 整備中→('20) レクリエーション施設の概成				
<p>● 自然エネルギー・環境学習による人材育成や川口ダム湖畔を中心とした「スマート回廊」のにぎわい創出のため、「川口ダム湖畔活性化構想」（2019年度策定）に基づき、川口エネ・ミューを核として、カヌー・SUP等の湖面スポーツに親しめる環境整備や、森林体験エリアの活用を地域と共に進め、地方創生へと繋げます。〈企業〉</p>	推進			
○「カヌー・SUP（アウトドアパドル）」の拠点整備 ('21) 整備・('22) 開設				
○川口エネ・ミュー年間延べ体験者数 ('17) 17,370人→('22) 18,500人	17,500人	17,800人	18,100人	18,500人

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

【重点戦略4】

共生社会の実現！障がい者スポーツ・芸術文化の深化

主要事業実施工程表（4-4 共生社会の実現！障がい者スポーツ・芸術文化の深化）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	2019	2020	2021	2022
1 障がい者スポーツ・芸術文化の振興				
主要指標 ○「パラスポーツ人材バンク（仮称）」の創設 創設				
●「障がい者交流プラザ」を活用し、障がいのある人もない人もスポーツや芸術・文化活動等を通じて、社会参加と交流を促進します。＜保健＞	推進			
○「障がい者交流プラザ」の利用者数 ('17) 138,511人→('19)～('22) 年間14万人	14万人	14万人	14万人	14万人
●障がい者スポーツの裾野の拡大と次世代パラアスリートの発掘・育成を図るため、障がい者スポーツ実施のための環境や、幼少期からスポーツに参画する機会を創出し、障がい者スポーツ活動の活性化を図ります。＜保健＞	推進			
○パラアスリート育成「トップアスリート・スクーリング（仮称）」参加者数 ('17) →('22) 60人	30人	40人	50人	60人
○「ジュニア・アカデミー（仮称）」参加者数 ('17) →('22) 100人	70人	80人	90人	100人
○特別支援教育「ユニバーサル運動プログラム（仮称）」の作成 ('19) 作成				
○「パラスポーツ人材バンク（仮称）」の創設 ('20) 創設				
●障がい者芸術文化活動のさらなる振興を図るため、障がい者の芸術文化活動のための環境づくりや障がい者アーティストの発掘、活動を支援する人材の育成を行うとともに、芸術文化活動やその作品を通じて障がいへの理解を促進し、共生社会の実現への取組みを推進します。＜保健＞	推進			
○障がい者芸術の全県展開「共生アートプロジェクト」の創設 ('20) 創設				
○障がい者アート常設展の開設 ('20) 開設				
○特別支援学校の生徒による表現活動の実践と発表の場の創設 ('19) 創設				
●障がい者の生涯を通じた多様な学習や活動を支援し、特別支援学校等卒業後の学びや交流の機会を創出します。＜教育＞	推進			

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

【重点戦略5】

新次元！文化スポーツ施設「グレードアップ戦略」の展開

主要事業実施工程表（4-5 新次元！文化スポーツ施設「グレードアップ戦略」の展開）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	2019	2020	2021	2022
1 史跡・文化財の活用				
主要指標 <ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財総合センター利用者数 年間12,000人 				
<ul style="list-style-type: none"> ● 徳島県内出土の埋蔵文化財を蓄積している埋蔵文化財総合センターを文化財の公開・活用の拠点として整備し、地域活性化の核となり得る埋蔵文化財をはじめとした文化財の魅力、素晴らしさを発信します。〈県民〉 	推進			>
<ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財総合センター利用者数 ('17) 11,902人→('19) ~('22) 年間12,000人 	12,000人	12,000人	12,000人	12,000人
<ul style="list-style-type: none"> ● 史跡・埋蔵文化財についての講演会・展示会・ウォーキング等を開催し、県民の文化財保護意識を醸成するとともに、県民による文化財の活用を進めます。〈県民〉 	推進			>
<ul style="list-style-type: none"> ○史跡・埋蔵文化財保護関連行事参加人数 ('17) 470人→('22) 年間600人 	470人	500人	550人	600人
<ul style="list-style-type: none"> ● 改正文化財保護法で規定された文化財保存活用大綱を策定し、県民総がかりで文化財の保存と継承に取り組みます。〈県民〉 		策定	推進	>
<ul style="list-style-type: none"> ○文化財保存活用大綱の策定 ('20) 策定 				
<ul style="list-style-type: none"> ● 阿南市「加茂宮ノ前遺跡」の出土品「水銀朱関連遺物」をはじめ、県内各地から出土した重要遺物の再整理・調査研究を進め、本県を代表する埋蔵文化財として未来への継承を図るため、県内外へ情報を発信します。〈県民〉 	推進			>
<ul style="list-style-type: none"> ○「加茂宮ノ前遺跡」出土品速報展の開催 ('19) 開催 				
<ul style="list-style-type: none"> ● 映像を通じて徳島の魅力を発信するため、三好長慶の大河ドラマ化にチャレンジするなど、徳島を舞台にした映画やドラマ等のロケを誘致・支援します。（再掲）〈商工〉 	推進			>
<ul style="list-style-type: none"> ○ロケ支援件数 ('17) 59件→('22) 85件 	70件	75件	80件	85件

主要事業実施工程表（4-5 新次元！文化スポーツ施設「グレードアップ戦略」の展開）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	2019	2020	2021	2022
2 「文化の森総合公園」の新事業展開				
主要指標 ○文化の森総合公園文化施設入館者数	年間81万人			
● 広く県内外に向けて文化・芸術の感動や体験の場を提供するため、民間との連携を図るなど魅力ある企画展やイベントを開催します。（再掲）＜教育＞	推進			
○文化の森総合公園文化施設入館者数 ('17) 814,816人→('19)～('22) 年間81万人	81万人	81万人	81万人	81万人
○恐竜化石含有層の発掘及び調査 ('19) 本格実施				
○恐竜化石専用コーナー「徳島恐竜コレクション」の開設 ('21) 開設				
○博物館60周年記念展 「とくしまタイムトラベル（仮称）」の開催 ('19) 開催				
○「文化の森デジタルアーカイブ（仮称）」の公開 ('20) 構築・公開				
○自然災害関係古文書及び歴史的公文書のデジタル化 ('20) 完了・公開				
○「ドイツ・ニーダーザクセン州友好展覧会」の開催 ('20) 開催				
○文化の森総合公園「県立博物館」グランドオープン ('21) グランドオープン				
○文化の森総合公園「野外彫刻展（仮称）」の開催 ('20) 開催				
3 新次元文化スポーツ環境の創造				
主要指標 ○「未来型スポーツ環境創造プロジェクト」の推進	基本構想等策定			
● 少子高齢化や地球温暖化が進行するとともに、大規模災害への対応が求められる中、快適で安全なスポーツ環境を確保し、子育て世代、高齢者、障がい者等あらゆる人々が様々なスポーツやイベントを楽しむことができることともに、発災時には拠点避難所にもなる複合型スポーツ施設の整備により、地方都市としての賑わいを創出し、まちの活性化につながる、本県ならではの「未来型スポーツ環境創造プロジェクト」を推進します。＜県民＞	推進			
○「未来型スポーツ環境創造プロジェクト」の推進 ('22) 基本構想等策定				
● 急速な人口減少・少子高齢化に伴い、施設の利用需要も変化する中で、地域の実情に応じた既存の文化・スポーツ施設の有効活用と更なる機能向上により、地域の文化・スポーツ環境の整備を図ります。＜政策・県民・県土＞	推進			
● 本県の競技力向上につなげるため、国際スポーツ大会を契機として国内に蓄積された最先端の医科学知見に基づくサポートに関するノウハウを積極的に導入し、アスリート・医科学サポート体制の強化を推進します。＜県民＞	推進			
○アスリート・医科学サポートに関する講習会等の開催件数 ('17) →('22) 15件	12件	13件	14件	15件

